



イチゴ
高設栽培用カルチ
CLA-35
安全取扱説明書



- ご使用前に必ずこの安全取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
- 安全取扱説明書は大切に保管してください。

このたびはニッカリ製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

- この安全取扱説明書は、安全快適にご使用していただくために、下記目次の順にて説明しています。

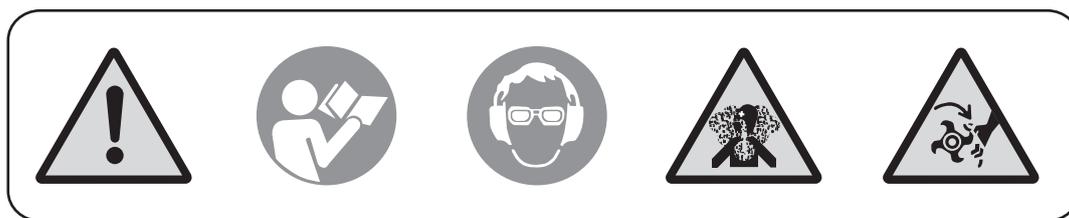
ご使用前には必ず熟知するまでお読みのうえ正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

お読みになった後も、必ず保管してください。

- 部品のご入用、故障の場合には、お買い求めの販売店または各営業所にお問い合わせください。
⚠のマークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

 危険	適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が極めて大きいことをしめします。
 警告	適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することをしめします。
 注意	安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることをしめします。

- 万一ラベルが読めなくなった場合は、販売店より新しくラベルを購入し貼り替え、常にマークが読めるようにしてください。



使用上の注意を守って使用してください。

使用前に取扱説明書を読み理解して使用してください。

作業中は保護具を着用してください。

排気ガスには人体に有害です。換気の悪い場所では使用しないでください。

作業中及びエンジンが稼働中に絶対にツメに手や体の一部を近づけないでください。

目次

- ・安全にご使用いただくために……P. 1
- ・使用準備……P. 3
- ・各部の名称……P. 5
- ・運転方法（始動・停止）……P. 6
- ・日常点検・整備・長期保管……P. 7

 警告	機械の改造は危険ですので、改造しないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。
---	--

安全にご使用いただくために・・・

機械を安全に使用するために、次の事項は必ず守ってください。

1. 全般的なこと

(1) 説明書をよくお読みください。

- ⚠️**注意** (2) 長袖、長ズボンを着用（袖じまり、裾じまりのよいもの）し、頭部にはヘルメット等、JIS等の規格に合格した保安帽を着用するとともに、手袋を付けて、足元保護のため安全ぐつ又は長ぐつを履いてください。
- ⚠️**警告** (3) 過労や飲酒、薬物を服用して本機を使用しないでください。
- ⚠️**警告** (4) 子供や取扱いの指導を受けていない人には使用させないでください。
- ⚠️**警告** (5) 取扱いの指導を受けていない人や扱いに不慣れな人にはカルチを貸さないでください。
- ⚠️**警告** (6) 夜間及び天候の悪いときは使用しないでください。
- ⚠️**警告** (7) ビニールハウス内で使用する場合は、換気をし風通しをよくして使用してください。換気が不十分だと酸素不足と有害な一酸化炭素が溜まってガス中毒の危険があります。

2. ご使用前に

機械の点検

- ⚠️**注意** (1) 各部のゆるみがないか、グリス、オイル、燃料が入っているか、燃料漏れがないかを点検し、異常がないことを確認してから使用してください。
- ⚠️**注意** (2) 爪が確実に取り付けられているか、損傷はないかを確認し、異常のないことを確認してから使用してください。

エンジンの始動

- ⚠️**注意** (1) 4サイクルエンジンです。燃料は自動車用無鉛レギュラーガソリンを使用してください。本機に混合ガソリンを使用すると始動不良・出力低下・燃料系の詰まり原因となります。
- ⚠️**危険** (2) エンジンを始動するときは、周囲（15m以内）に充分注意してください。
- ⚠️**注意** (3) 始動は燃料補給場所とは異なるところで行ってください。
- ⚠️**注意** (4) 燃料の補給はエンジンを停止し、火気のないところで行ってください。もし、補給中に燃料をこぼしたときは十分に拭き取ってください。
- ⚠️**注意** (5) 排気を吸わないように注意してください。

3. 作業時

- ⚠️**注意** (1) 足元や周囲に充分注意して作業してください。
- ⚠️**注意** (2) 石等に当たり衝撃をうけたときや、異常を感じたときは、作業を中止しエンジンを停止させて異常の有無を点検確認してください。
- ⚠️**注意** (3) 爪部に異物が巻きついた場合は、必ずエンジンを停止してから異物を取り除いてください。
- ⚠️**注意** (4) 作業中に立ち話は絶対しないでください。話をするときにはエンジンを止めてください。
- ⚠️**注意** (5) 電気ショックを受ける可能性がありますので、作業中は点火プラグキャップ部、高圧線に触れないでください。

- ⚠️**危険** (6) 火傷防止のため、作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくエンジン本体、マフラ等に触れないでください。
- ⚠️**警告** (7) 場所を移動するとき、作業を中断するときは**必ずエンジンを停止**してから行ってください。
- ⚠️**注意** (8) 回転している爪には、手はもちろん身体や衣服を近づけないでください。

4. 作業後

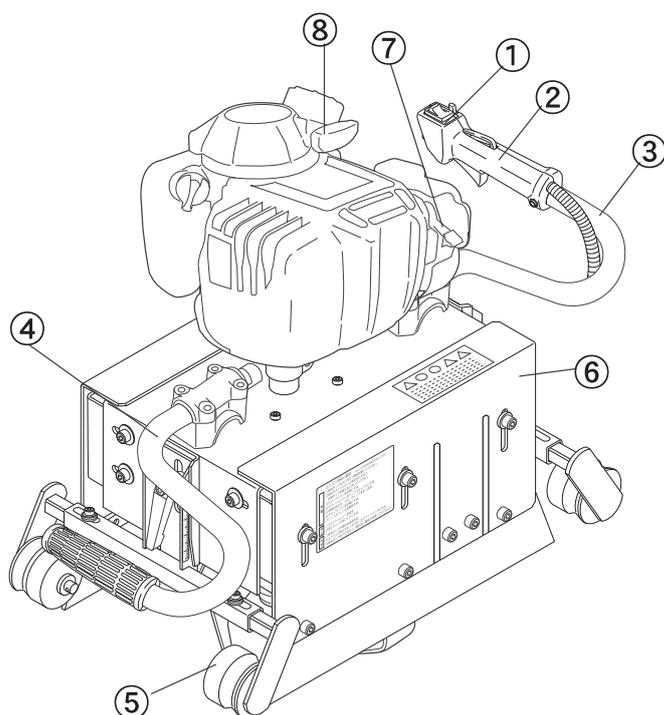
使用後の手入れ

- (1) 全体のチリやホコリをよく取り除いてください。特にエンジンのエアクリーナ部分や冷却風取入れ口の付着物に注意してください。
- ⚠️**警告** (2) 各部の締め付けネジの緩みがないか、爪に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、爪に**損傷があった場合はすぐに交換**してください。
- (3) 燃料やウォームケースのグリス漏れがないかを点検し、漏れがある場合は、修理してください。
- (4) 修理・調整するときはエンジンを停止し2次コードをプラグから外してください。
- ⚠️**警告** (5) 部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の**純正部品**をお使いください。

保 管

- (1) 各部を十分に清掃し金属部には発錆防止のためオイルを薄く塗ってください。
- (2) 燃料タンク、キャブレタに残っている燃料は全部抜き取ってください。
- (3) リコイルスタータを引張って圧縮のあるところ(重くなったところ)で止めてください。
- (4) 損傷箇所がある場合は**必ず修理**してから格納してください。
- (5) 子供の手の届かないところに保管してください。
- (6) 湿気のないゴミ、ホコリのつかないところに格納してください。
- ⚠️**注意** (7) 燃料を保管する場合ポリ容器は使用しないでください。
(1ヶ月以上ポリ容器に入れておくと燃料が腐ります。)

各部の名称



- ①ストップスイッチ
- ②スロットルレバー
- ③ハンドルR
- ④ハンドルL
- ⑤車輪
- ⑥サイドカバー
- ⑦チョークレバー
- ⑧リコイルスターター

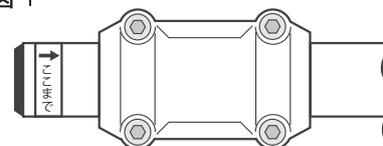
型式	排気量	重量	全長×全幅×全高	爪幅
CLA-261	35 cc	18 kg	720×250×590 mm	100 mm

使用準備

1. ハンドルの組付け

ハンドルL・Rをハンドルホルダーに組み付けます。
ハンドルの「ここまで」のシールが見える位置まで
ハンドルを差し込んでください。(図1)

図1

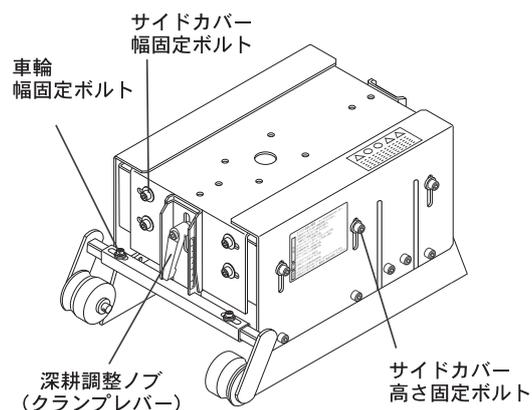


2. 本体調整

ご使用になる高設栽培用ベッドに合わせて、車輪幅、サイドカバーの幅・高さ及び耕す深さを調整
ください。

注意

深すぎるとベッドを傷つけるおそれがあります。



3. ガソリンの点検

⚠警告

ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発し死傷事故を引き起こすことがあります。
ガソリンを補給する時は

- ・エンジンを停止してください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・身体に帯電した静電気を除去してから給油作業を行ってください。

静電気の放電による火花により、気化したガソリンに引火し火傷を、負うおそれがあります。

本機や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。

- ・ガソリンをこぼさないように補給してください。万一こぼれた時は、布きれなどで完全にふき取り、火災と環境に注意して処分してください。
- ・燃料は注入口の口元まで入れず所定の給油限界位置を越えないように補給してください。入れすぎるとガソリンが燃料給油キャップからにじみ出ることがあり危険です。

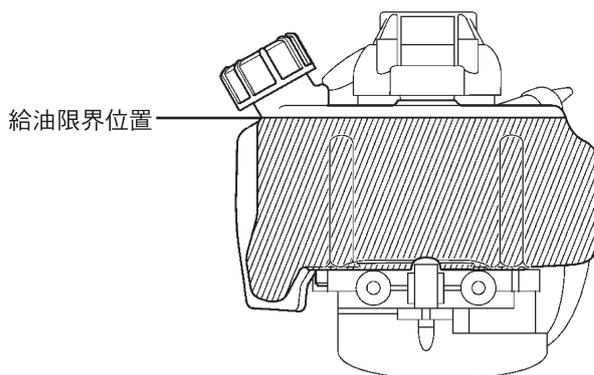
《点検》

燃料タンクの外側より液面の位置を確認し、燃料の量を点検します。少ない場合は給油限界位置を超えないように補給してください。

《補給》

使用燃料:自動車用無鉛レギュラーガソリン

- ・燃料給油キャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部との気圧差を取り除きます。
- ・補給後、給油キャップを完全に締め付けてください。また、給油キャップ取り付け部より燃料漏れがないことを確認してください。

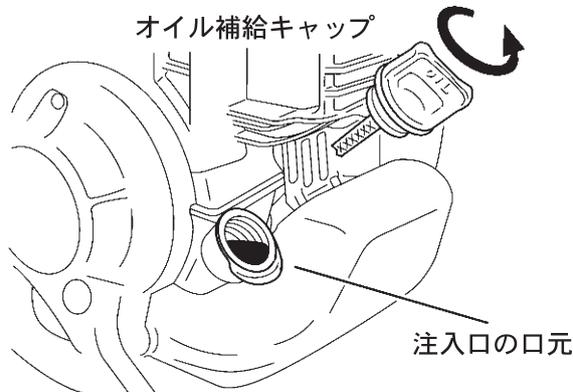


取り扱いのポイント

- ・ガソリンにエンジンオイルを混合した、混合ガソリンを使用しないでください。本機に混合ガソリンを使用すると始動不良、出力低下、燃料系のつまりの原因となります。
- ・高濃度アルコールを含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを破損する原因となります。
- ・軽油、灯油や粗悪ガソリン等を補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響をあたえます。

4. エンジンオイルの点検

- ・エンジンを水平にし（図の様に本体を倒します。）オイル給油キャップを外し、注入口の口元までオイルがあるか点検してください。不足している場合は、口元まで補給してください。
- ・汚れ変色が著しい場合は交換してください。



上限（エンジンが水平で、注入口の口元）

《推奨オイル》

4サイクルガソリンエンジンオイル

HONDA純正 ウルトラU汎用（SAE10W-30）またはAPI分類SE、SF、SG級相当のSAE10W-30オイルをご使用ください。

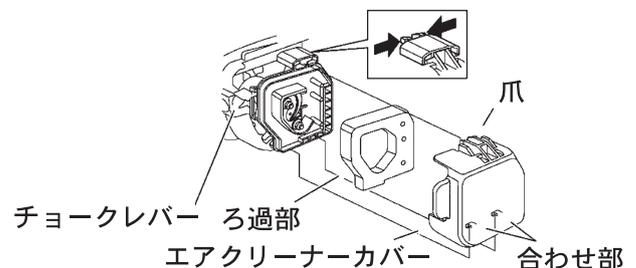
《オイル容量》 0.08ℓ

取り扱いのポイント

- ・エンジンを連続運転する場合、10時間運転毎にエンジンオイルの点検、補給を行ってください。
- ・エンジンオイルの補給はオイル容量が小さいため、少量に分け注入してください。
- ・オイル補給キャップは確実に締め付けてください。締め付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。

5. エアクリナー（空気清浄器）の点検

- ・チョークレバーを上げ、エアークリーナカバーを外して、ろ過部(ウレタン)汚れていないか点検します。エアークリーナカバーの取り外しは、爪の両端をつまみ手前に倒し上部を外した後、下部の合わせ部を離して行います。汚れがひどい場合は清掃をしてください。
- ・ろ過部(ウレタン)が汚れているとエンジン性能が低下します。



6. 各部の締付け状態の点検

- 各ボルト、ナットにゆるみがないことを確認します。
- ボルト、ナットにゆるみがある場合は確実に締め付けてください。

始 動

始 動

① エンジンスイッチ

- ・エンジンスイッチを始動位置にします。

② チョーク

- ・寒いときや、エンジンが冷えているときには、チョークレバーを始動の位置にあわせます。
- ・エンジンが暖まっているときは操作不要です。

③ プライミングポンプ

- ・燃料戻しチューブの内側でガソリンが移動するまでプライミングポンプを押します。

④ 始動グリップ

- ・作業機側の安全な部分をしっかりと押さえ、始動グリップを引き重くなる所をさがし、勢いよく引きます。

※取り扱いのポイント

- ・始動グリップは勢いよく引いてください。始動時のエンジンの回転が速くなると、点火火花が飛びエンジンがかかります。エンジンの回転が遅いとエンジンのかからないことがあります。
- ・始動グリップを引いたままを放さないでください。始動装置や回りの部品を破損することがあります。
- ・運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響をあたえます。

⑤ チョーク

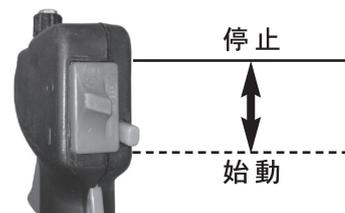
- ・チョークレバーを"始動位置"にしたときは、エンジン回転数が安定することを確認しながら徐々に"運転"の方向に戻します。

⑥ 暖機運転

- ・2～3分間暖気運転をしてください。

⑦ エンジン回転調整レバー

- ・エンジン回転調整レバーを使用する回転数に調整してください。



① エンジンスイッチ



② チョーク



③ プライミングポンプ



④ 始動グリップ

警告

- ・排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています。換気の悪い場所でエンジンを始動しますと一酸化炭素のガスによる中毒のおそれがあります。
- ・トップカバーを外した状態で始動グリップを引いたり、エンジンを始動しないでください。高温部および回転部が露出するので、思わぬ事故の原因となります。

停止

停止

①エンジン回転調整レバー

- ・エンジン回転調整レバーでエンジン回転を最低速にします。

②エンジンスイッチ

- ・エンジンスイッチを“STOP”停止位置にします。

日常点検・整備・長期保管

点検・整備

始動前に必ず点検を行って下さい。

- ①ツメの破損、偏摩耗はないか。



- ②ツメ取付ボルトやその他ネジのゆるみ、損傷はないか。

- ③各部に油もれはないか。

- ④エアクリーナエレメントは汚れていないか。

- ⑤燃料は充分あるか。

※その他複雑な調整・修理は購入販売店にご相談下さい。

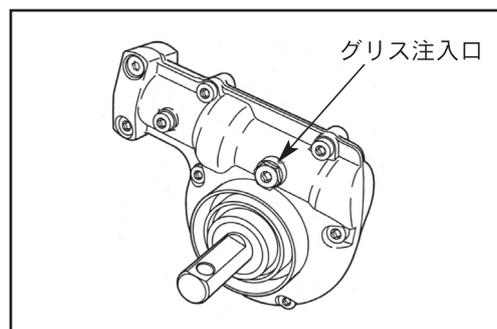
項目	使用時間	毎日	20時間	50時間
ボルト、ナットのゆるみ		○		
燃料もれ		○		
プラグの清掃、調整			○	
エアクリーナエレメントの清掃			○	
ウォームケースのグリス補給				
スロットルワイヤーの調整				○

〈注意〉機械の寿命は、手入れの良否によります。上記の表の項目について点検整備を行ってください。時間数は標準的な目安ですので、負荷状態や使用環境によって適宜増減してください。

グリスの注入

グリスはエッソのリスタンEP2相当のものを20時間毎に補給して下さい。

- ①グリス注入口のボルトを取りはずす。
- ②グリスを注入する。
- ③グリス注入口のボルトを取りつける。



長期保管

- ① 2週間以上使用しない場合は、燃料タンク、キャブレタ内の燃料を全部排出してください。
- ② キャブレタ内の燃料を抜くには、タンクの燃料を抜いた後、エンジンを始動させ低速のままで、自然にエンジンが停止するのを待ちます。
- ③ エアクリーナを清掃すると同時に各部の汚れを取除いてください。
- ④ 点火プラグ取付穴より2サイクルオイルを数滴注入し2～3回リコイルスタータを引張り、ピストンヘッドが最もプラグに近い位置でプラグを装着してください。



- ⑤ エンジンが充分冷えていることを確認してから、直射日光のあたらない、湿気やほこりの少ない場所に保管してください。

エンジン オイルの交換

エンジン オイルが汚れていると摺動部や回転部の寿命を著しく縮めます。交換時期、オイル容量を守りましょう。

⚠注意

- ・エンジン停止直後はエンジン本体の温度や湯温が高くなっています。十分に冷えてからオイル交換を行ってください。火傷をするおそれがあります。

《交換時期》

初回：1か月目または10時間運転時、以降：6か月毎または50時間運転毎

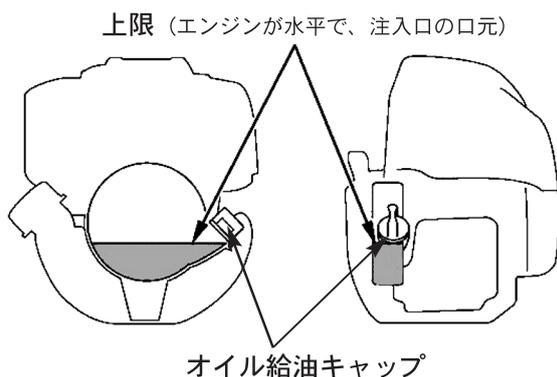
《推奨オイル》

4サイクルガソリンエンジンオイル

HONDA純正 ウルトラU汎用(SAE10W-30)またはAPI分類SE、SF、SG級相当のSAE10W-30オイルをご使用ください。

《交換》

1. 燃料キャップが締付けられていることを確認します。
2. エンジンが水平を水平にし、オイル給油キャップを外し、本機を注入口側に傾け、オイルを抜きます。オイルは、容器に受けてください。
3. 注入口の口元まで新しいオイルを注入します。
※タンク容量が小さいため、少量に分けて注入してください。
4. 注入後、オイル給油キャップをゆるまないように確実に締め付けます。



取り扱いのポイント

- ・交換後のエンジン オイルはゴミの中や地面、排水溝などに捨てないでください。オイルの処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。不明な点はオイルをお買い上げになったお店にご相談のうえ処理してください。
- ・オイル給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。
- ・オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的な点検、交換を行ってください。

